

## 水害編 第2章

## 【避難行動】

水害は起こる前に、  
とにかく逃げる



- 1 状況確認・避難判断 p.117
- 2 安全な場所への避難 p.121

# ① 状況確認・避難判断

## 水害発生タイムライン

### 【警戒レベル4】で全員避難!!

お年寄りなど避難に時間や助けが必要な人は、【警戒レベル3】が発令された時点で避難を開始してください。

### 淀川氾濫は上流部での雨の降り方に注意

上流部での降雨が淀川の流量に大きく影響するため、住んでいる地域だけでなく、上流部での今日、明日の雨の状況についても注意を払いましょう。

### 内水氾濫では避難情報が発信されないことも

内水氾濫では、早ければ猛烈な雨が降り出してからほんの10分程度で道路側溝やマンホールから水があふれ出します。空が雷とともに真っ黒な雲に覆われたら要注意です。

### 高潮は数日前からの台風情報に注意

高潮は大型台風(スーパー台風)が大阪湾に接近、上陸したあとに発生します。大型台風が発生する予報が出されたときは、その進路に気を配りましょう。

### 津波避難は地震発生後すみやかに

南海トラフ巨大地震が発生した場合には、太平洋沿岸地域や大阪湾沿岸地域にも大津波警報が発表されます。大きな横ゆれを感じたら、情報に注意して、避難指示(緊急)の発令を待たずに素早い避難を心がけましょう。

現象	淀川氾濫	内水氾濫	高潮	津波
原因	集中豪雨	局地的大雨	スーパー台風	海溝型地震
5日前			台風発生	
3日前			台風5日後 進路予報	
1日前			台風72時間後 進路予報	
半日前			台風24時間後 進路・規模予報	
2時間前				
60~10分前	継続降雨(日量360ミリ) ↓ 淀川氾濫危険水位(レベル4) 【警戒レベル4】発令	大雨警報(浸水害) 洪水警報 【警戒レベル3】発令 ↓ 強い積乱雲発生 継続降雨 ↓ ゲリラ豪雨発生	高潮(特別)警報	地震発生 大津波警報 避難指示(緊急)発令
災害発生	越流・破堤	道路冠水	越流・破堤	津波到達
±0時	淀川氾濫危険水位(レベル5) 【警戒レベル5】発令			地下への流入
30分後		地下への流入		
1時間後	地下への流入			
2時間後			地下への流入	
5時間後	想定区域全域浸水			

※気象の状況によって地下への流入が早まる場合があります。

# ① 状況確認・避難判断

## 市が発令する避難情報

### 避難情報は5段階

避難情報5段階のうち【警戒レベル1】と【警戒レベル2】は気象庁が発表し、【警戒レベル3】から【警戒レベル5】は大阪市が発令します。

#### 【警戒レベル3】高齢者等避難!!その他の人避難準備

- ◆避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難する
- ◆その他の人は、避難の準備を整える

#### 【警戒レベル4】全員避難!!

- ◆すみやかに避難する
- ◆避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する

#### 【警戒レベル5】災害発生

- すでに災害が発生している状況
- ◆命を守るために最善の行動をとる

※津波警報または大津波警報が発表された場合は、警戒レベルではなく、避難指示(緊急)として避難情報が発令されます。

### 避難行動の呼びかけ

淀川氾濫【警戒レベル4】の場合、大阪市は次のように避難行動を呼びかけます。

- ◆「緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、全員避難」×2回
- ◆こちらは大阪市です
- ◆淀川が氾濫するおそれのある水位に到達し、警戒レベル4となりました
- ◆すみやかに全員避難を開始してください
- ◆指定された避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所か、屋内の高いところに避難してください

### 避難情報はサイレンでも

避難情報は防災スピーカーからサイレン(警告音)として流されます。

	サイレン(警報音)パターン
津波警報	
大津波警報	
避難勧告	
避難指示	

大阪市危機管理室のホームページで実際のサイレンパターンを聞くことができます(wav形式)。



## ② 安全な場所への避難

### 水害からの避難は垂直避難と水平避難

広範囲が浸水する場合、浸水想定区域外への水平避難は簡単ではありません。お年寄りや身体に障がいのある人は特に大変です。

#### 垂直避難～ビルの3階以上に

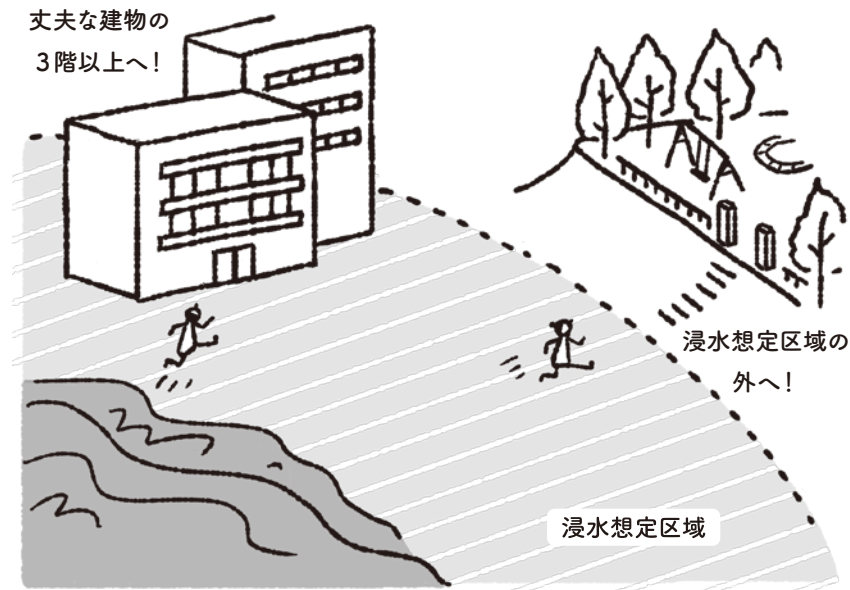
津波避難ビルに指定されている災害時避難所の浸水しない階か、その他の津波避難ビルや付近の丈夫なビル、住んでいるマンションの3階以上に避難しましょう。



#### 水平避難～浸水想定区域の外へ



治療や介護、その他命にかかわるようなサービスが日常的に必要な人は、早めに浸水想定区域外へ移動しましょう。被害を受けた地域では、さまざまなサービスが大きく低下します。



最寄りの津波避難ビルを確認する (地域別防災マップ) pp.159-176  
 水害時の浸水想定区域を確認する pp.180-182  
 水害時に避難できる避難場所を確認する pp.183-186



水害時の避難先を決めておく pp.227-228

## ② 安全な場所への避難

### 安全に避難するために

水害からの避難は、早め早めが安全です。屋外に避難するとき、雨が降っていたり、浸水が始まっていたりすると避難行動自体が危険となります。

#### 動きやすく安全な格好で避難

レインコートなどを着て両手が使えらるるようにしましよう。リュックサックの利用も有効です。



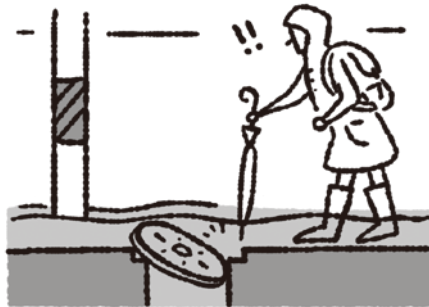
#### 浸水深さに注意

浸水深さがひざより上の場合は、屋外を移動せずたどり着ける場所に避難しましよう。津波の場合は、すねぐらの深さでも危険です。



#### 足元に注意

濁水の下に凹凸につまづいて転倒したり、側溝やふたのずれたマンホールに落ちないよう、傘、ウォーキングポールなど長い棒で足先を探りながら進みます。



#### 1人で行動しない

流水の中で転ぶと立ち上がれなくなる可能性があります。助け合いができるように1人で行動することは避けましよう。子どもやお年寄りなどへの気配りも忘れないようしましよう。



#### 避難に自動車は使わない

多くの人と同時に避難するため、交通渋滞が発生しましよう。



#### ハイブリッド車に注意

冠水したハイブリッド車や電気自動車に触れると感電するましよう。

#### 電気室の浸水で建物機能がマヒ

浸水想定区域内の建物では、止水板や土のう・吸水土のうを設置して電気室の防水対策を行いましよう。

